

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	理事長 檜原 弘樹	法人・事業所の特徴	私たちは生協人として利用者の満足向上のために常に利用者の立場で考え、誠実に行動します。事業所では、生協福祉の理念「あなたらしさいつまでも」を実現するために、10の基本ケアを実践・推進し、利用者ができる限り自分の力を発揮しながら自分らしく生活できるように応援していきます。そのために、本人と家族の思いに沿えるよう交流を深め、信頼関係の構築に努めます。また、地域社会からも信頼される事業所を目指し、地域とのつながりを大切にします。
事業所名	小規模多機能ホーム 敦賀きらめきハウス	管理者	清水 康生		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		2人				2人	3人		8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前の担当者会議には、担当の介護職員ができる限り参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前に情報提供、ミーティングを行っている。アセスメントをもとに利用者やご家族の思いをくみ取りながら支援方針を検討、確認しサービス提供を継続している。</li> <li>・担当者会議には可能な限り担当職員が参加できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の取り組みに対して、日々取り組んでいる。</li> <li>・担当者会議には可能な限り担当職員の参加ができると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議への参加は可能な限り担当職員の参加ができるように調整を行う（継続）</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備を徹底し清潔で整った状態を維持して、利用者や家族、見学者に居心地の良い空間と常にかけてもらえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な環境保持は継続でき、利用者さんや来訪者に心地よい空間づくりに努めることができた（継続）</li> <li>・感染症対策も継続実施し、感染症等の蔓延を防止することができた（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣にある施設に母親が入居しているが、話を聞くと「皆、いい人」と言っていて、雰囲気もよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備を徹底し、清潔で整った状態を維持してご利用者様やご家族様、見学者に居心地のよい空間を感じていただけるようにする（継続）</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人の「地域とのつながり」に対する希望を把握し、希望される方への具体的なサポートを行う。地域行事には事前にシフト調整を行い十分な体制で臨む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育園や小中学校や各ボランティアとの交流、介護やすらぎカフェ、福祉委員会、医療機関や関係事業所との連携は図ることができている。（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お神輿のイベントも一緒に楽しめたり、中学校との交流も図れていて、取り組んでいると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様や地域の方とも「地域へのつながり」への要望を共有する（継続）</li> <li>・可能な限りご要望に対するサポートを行いながら、地域住民から相談しやすい施設づくりを目指していく。</li> <li>・地域の行事へは事前に可能な限りシフト調整を行いながら、都度、参加有無の確認を行う。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議には担当介護職員が利用開始時期から参加する。利用時だけでなく、更新されていくアセスメント情報（ご本人のこれまでの暮らしや歴史）を常に共有していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者との日頃の会話や「つぐみ」を使用しての情報収集、アセスメント情報、日々のミーティングなどで、利用者本人の生活スタイルや人間関係について理解を深めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の会議内でも地域のいろいろなイベントに参加されている話も聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つぐみ」を使用してミーティング等で、ご利用者様のアセスメント情報を収集し、日々、職員共有を行う。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員も順番に運営推進会議に参加できるよう、年間の参加予定表の作成・運用と、勤務表作成時点での人員配置を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者、ケアマネージャー、介護職員は交代で定期出席ができた。</li> <li>・利用者、ご家族、地域、関係事業所の声を共有し、サービス提供に更に繋げていく。（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した運営推進会議の中では地域の心配な方等の事例検討はなかったと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議での意見も参考にさせていただき、日々の業務等でも「地域でのお困りごと」を把握し、事業所内でも情報共有を行う。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有事に備えた防災訓練を定期的実施し、地域住民にも参加していただく。防災計画についても地域の方に知っていただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、災害時の避難訓練は実施できたが、地域の方には参加いただけなかった。12/18（火）防犯訓練実施。</li> <li>・リスク委員会が中心となり、職場会議でPPE（個人防護具）装着、使用実技を開催。各利用者がお住まいの地域のハザードマップのチェックや災害に対する注意喚起と情報共有は年間を通して行うことができた（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の防災訓練に参加したことはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の案内文を作成し、事前に関係者への配布を行いながら可能な限り地域住民にも参加をしていただく。</li> <li>・防災計画についても地域の方に知っていただく（継続）</li> <li>・BCP（防災・災害）に関して、敦賀市危機管理対策課作成の敦賀市防災ハンドブックも参考にし合同訓練も検討していきます。</li> <li>・行政、地域との連携方法について、外部研修等にも可能な限り参加をして検討を行います。</li> </ul>